

中野区教育委員会第11回協議会会議録

開催日時 平成20年3月28日(金) 開会11時01分 閉会11時25分

開催場所 中野区役所教育委員会室

出席委員	中野区教育委員会	委員長	高木 明郎
	同	委員長職務代理	大島 やよい
	同	委員	飛鳥馬 健次
	同	委員	山田 正興
	同	教育長	菅野 泰一

事務局職員	教育委員会事務局次長	竹内 沖司
	教育経営担当課長	小谷松 弘市
	教育改革担当課長	青山 敬一郎
	学校教育担当課長	寺嶋 誠一郎
	指導室長	入野 貴美子
	生涯学習担当参事	村木 誠
	中央図書館長	倉光 美穂子
書記	教育経営分野	松島 和宏
	教育経営分野	渡邊 真理子

傍聴者数 23人

議 事

(報告事項等)

○委員長、委員報告事項

- ・ 3/24 区立小学校卒業式(桃園第三小学校・谷戸小学校・仲町小学校・桃丘小学校)について
- ・ 3/25 桃園第三小学校・桃丘小学校閉校式について
- ・ 3/25 第六中学校・第十一中学校閉校式について
- ・ 3/26 中野昭和小学校・東中野小学校統合に伴う通学路視察について

○教育長報告事項

- ・ 中野区議会第一回定例会について

- ・ 3 / 2 4 区立小学校卒業式（新井小学校）について
- ・ 3 / 2 5 仲町小学校修了・お別れ式について

○事務局報告事項

（なし）

午前 1 1 時 0 1 分開会

高木委員長

教育委員会第 11 回協議会を開会いたします。

初めに、委員長、委員報告です。

<委員長、委員報告事項>

高木委員長

まず、私から。

3 月 24 日月曜日、中野区立桃園第三小学校第 85 回卒業式、最後の卒業式に行っていました。桃園第三小学校は、仲町小学校、桃丘小学校と統合いたしまして、この 4 月 1 日から桃花小学校になります。6 年生 67 名が厳粛な中で卒業していきました。進路としましては、区内の中学校に 42 名、区外の区・市立学校が 4 名、都立——多分、中等教育学校でしょうね——あと、私立が 21 名。3 割強がいわゆる受験組で進学したということでございます。

この桃園第三小学校は最後の卒業式ということで、校長先生のお話の中で、シンボルツリーのケヤキの話がありました。これは樹齢 500 年とも、一部では 1000 年という話もあるのですが、立派なケヤキの木がありまして、「夢を実現する子」という教育目標の核にもなっております。校長先生のお話で、昔、このケヤキの木は、近所ではたたりの木として恐れられていたそうなのですね。これは、逆に言うと、それだけ大切なものなのだよということを言いたかったのではないかというお話でございます。

あと、卒業証書授与の前に、檀上に上がったときに、それぞれがどういう自分になりたいのか、「保育士になりたい」とか、「優しい人になりたい」とか、そういう決意表明をして証書を受け取るということで、非常にいい卒業式だったなと思いました。

続きまして、3月25日火曜日、第六中学校の閉校式に行っていました。第六中学校は、1万997名の卒業生を輩出して、地元で60年間貢献された学校でございます。閉校式というのは私も初めてでして、43人が既に卒業していますので、在校生は2年生が20人、1年生が8人、合計28人だけでございます。保護者の方や来賓の方のほうが多い状況ですが、この中で、校長先生の式辞が非常に良かった。「六中にこだわるな。こだわらないのだけれども、六中のプライドを持って緑野中学でしっかりやってください」ということで、非常にいいお話だったなど。校旗返還ということで、壇上で私が校長先生から受理しまして、それから、最後の校歌斉唱ですね。あと、別れの歌ということで、「仰げば尊し」は校長先生が伴奏、副校長先生が指揮をやって、最後に歌を終わってお別れしました。やはり後ろのほうではOBの方が泣いていました。

26日水曜日ですが、中野昭和小学校と東中野小学校の統合に関する通学路を実際に歩いてみました。前々週にほかの教育委員の方は皆さんお歩きになって、それ以外にも2回、3回歩いている方もいらっしゃるのですが、私は、当日、本業のほうの卒業式があつて参加できませんで、1人だけおくれたの形になりました。

最初は、統合で一番距離があるのではないかとと思われる東中野五丁目22番地から30番地付近の状況を30~40分ちょっと歩いて見てみました。多分、東中野五丁目30番地、バスの車庫に隣接するマンションあたり、これが直線距離では一番遠いのかなと。小滝橋と言われる橋のそば、そこら辺から主に東中野小学校の東側、南側の町をちょっと歩いてみました。10時に教育改革担当課長の青山課長と待ち合わせをしまして、そこから統合新校の東門まで、話をしながらゆっくり歩いてきました。ルートとしましては、けやき公園というところから東中野小学校の横を通りまして、幹線道路の早稲田通り、山手通りとの交差点の上落合二丁目、青原寺の駐車場で中野昭和小学校東門までというルートでございます。結構話をしながらぶらぶら歩いたり、信号のときはちょっととまって、マックスこれぐらい待つかなというのをやっていたら、東中野小学校の学童の子どもたちがぞろぞろと来て、追いつかれて、追い抜かれてしまったので、子どもと一緒に歩くというのは大体同じペースなのかなということで、20人と一緒にその青原寺駐車場までは後ろをついてぞろぞろと。学童の子ども20人と、ついての方が5人ぐらいですか。あと、私と青山さんはスーツを着て、余り邪魔にならないように歩いてみました。所要時間が大体25分ぐらいでございました。先々週、ほかの教育委員の方が歩いたのと大体同じぐらいの時間なのかなと。

次に、着いてちょっと休憩しまして、今度は、次に遠いのではないかなと思われるルートの方を逆に下校してみました。中野昭和小学校の東門から青原寺の交番、それから東中野銀座通り、山手通りを横断しまして、東中野の駅の北側の歩道を通って、東中野四丁目の交差点から三中までのルートでございます。これが大体 20 分ぐらい。これも、前々週にほかの教育委員の方が歩いたのと同じぐらいの時間でございます、いろいろ散策をして1時間半ぐらい歩いて結構疲れたのですけれども。

私は、毎週金曜日に、自分の子どもが特別支援学級に通級していますので、隣の小学校まで同行しています。これが大体 20 分かかります。歩くと正味 15 分なのですが、西武新宿線が平均 5 分ぐらいあかないのです。下手をすると 10 分ぐらいあかないときがあるので、25 分ぐらいかかる場合があります。子どもと一緒に歩くペースぐらいで歩いたので、多分こんな感じなのではないのかなと思います。統合委員会でも、通学路の安全ということはいろいろご意見が出ているようなので、これについては教育委員会として適切に対応していきたいなと思っております。

あと、中野昭和小学校や東中野小学校の P T A、それから地元町会の方も、子どもの安全についてはいろいろご努力されていると思うのです。私の子どもの行っている学校では P T Aが交代で、「かもパト隊」というのですけれども、ポイント、ポイントに年間 3、4 日割り当てがあって、そこでブルーの交通指導員みたいなものをつけて誘導したりとか。あと、町会の方がボランティアで立っていらっしゃるところもあるのですね。江古田四丁目の町会長さんは毎朝自転車に旗を立ててパトロールをしたりしていますので、例えばそういった他校の事例なども参考にしてよく話し合ってくださいといいのではないのかなと思っております。

私からは以上でございます。

大島委員

私は、3月24日の月曜日は、桃丘小学校の卒業式に出席いたしました。今、高木委員が言われた桃園第三小学校と一緒に桃花小学校になる学校なのですけれども、私もともかく感心したのは、卒業証書を授与される際に、生徒さんが名前を呼ばれたときに、大きな声で思っていることを1人ずつ全員発表されたのです。例えば「プロ野球選手になりたい」とかというような将来の夢を話された子もいるし、「中学へ行ったらクラブ活動を一生懸命やりたい」というような、クラブのことを言われた子もいるし、いろいろだったので、一番多かったのが、「友達に優しくしてもらったり、寂しいときにとても支え

になってもらったことがありがたかった。だから、中学へ行ったら、今度は自分が友達を支えてあげるような人になりたい」というようなことを話した子が人数的にも一番多くて、ちょっとびっくりしたというか、ともかく全員の子が大きな声ではきはきとしっかりとそういう意見を言っていたので、すごく関心してしまったのと、中身もそういうような思いやりのある内容だったりして感動してしまったのです。ちょうど用意していた祝辞の中に、皆さんに希望することというので、「思いやりのある人になってほしい」などというのがあったものですから、今みんながそういうことをすごく考えていて、自分としてもそういうことを感じている、重要なテーマにしているというようなことがわかったものですから、急遽、「皆さんもそういうことをちゃんと話されていて、私も感動して」とか、祝辞の中に入れたりいたしました。

それから、3月25日は、閉校式で、私は十一中に行つてまいりました。今度、六中と一緒に緑野中学校になる学校なのですけれども。やはり一抹の寂しさというものはあるのですが、十一中の場合には、校舎を使うということになるので、生徒たちにとしてみると、名前は変わるのだけれども、同じところに通うということで、悲壮感というようなものはそんなになかったかなというようなことは感じました。

私は以上です。

山田委員

私は、3月21日ですけれども、結核の今の状況についての講演会が医師会でありましたので、出席いたしました。ご承知のように、5年前からBCG・ツベルクリン反応というものが小学校、中学校では廃止をされまして、問診における結核検診が始まっているわけですけれども、残念ながら、中野区は、東京都の中でも結核の発症は比較的多いほうで、たしか23区中7番目ぐらいだったと聞いております。ですから、結核の問診票による高蔓延国まではいかないですけれども、中蔓延国ぐらいの発症はこの地域であるということです。ですので、引き続き、有症状者である児童・生徒の早期発見と、接触者の場合の早期対応、これが大変大切ではないかなと思いますので、今後も学校医を通じまして結核については学校の先生方にもご理解いただければいけないのかなと感じました。

24日、私は、谷戸小学校の卒業式に出席をいたしました。当日、卒業生は41名ですが、来賓は60名を超えていまして、やはり地域の方たちが非常に多く参加をしていただきました。この卒業生は、谷戸小の中では唯一1年から5年までは単学級だったのですね。非常に仲のいいクラスだったのですけれども、6年になりまして初めて2クラスになって、

いい意味では、競争心が働いたというか、切磋琢磨して、自分たちで春の運動会を成功させましたし、校長先生の話では、「岩井臨海における遠泳も、本当に泳げるのかなと思った子どもたちも完泳できた。これはお互いに一生懸命努力した結果ではないか」ということで紹介をされました。

また、これだけ来賓が多かったのは、谷戸小学校は周りに「あいさつ通り」なる通りを地域の方がつくっていただいて、朝登校時に子どもたちに声をかけるような運動が根づいているということのあらわれではないかなと思います。お世話になりました井澤校長はこの3月をもって退職をされます。校長職としては、10年間、中野区でお世話になりました。今後も中野区の子どもたちのためにご指導いただきたい旨、ごあいさつをさせていただきました。

翌25日でございますが、先ほど高木委員長が出席をされました桃園第三小学校におきまして閉校式が行われましたので、出席をいたしました。当日は、田中区長、市川議長も出席をいただきまして、卒業生が同席をしておりました。桃園第三小学校はことしで85年を迎える学校です。卒業生の数は1万6,830号ということで、中野区の小学校の中では、一番多くの卒業生を輩出されている学校です。そういった意味では、伝統ある、先ほどご紹介がありましたケヤキという名のもとで、多くの子どもたちが集い、多くの優秀な卒業生を輩出された学校であります。最後に校旗をお預かりをいたしました。最後の校歌の合唱がありましたけれども、卒業生などは名残惜しそうに、また、同窓生の皆さんも涙を流しながらその校歌に聞き入っておりました。なお、PTAのほうでご協力をいただきまして、在校生全員に校歌の入ったCD-ROMと校歌が印刷されたものが配付されたと聞いております。桃園第三小学校はこれで閉校を迎えまして、仲町小学校、桃丘小学校と一緒になりまして、この桃園第三小学校の場所において、桃花小学校ということで4月から開校を迎えます。

私からは以上でございます。

飛鳥馬委員

私も、24日月曜日、仲町小学校の卒業式に参加してきました。仲町小もことし70周年を迎えた、70年たった学校でございますが、やはり人数が少なくなりまして、卒業生は20人でした。今の1年生は5人しかいないので非常に寂しい感じでした。そういう小規模の学校でしたが、卒業式そのものは非常に温かい卒業式でした。20人の卒業生が一番前の中心に座って、あと、職員と来賓が両側に座るのは普通の学校と同じなのですが、卒業生

のすぐ後ろに保護者が全員座りまして、在校生はその後ろなんですね。ですから、ほかの学校と違う、最後だということもあったかもしれませんが、そういうふうな座席の組み方で。ことして閉校ということがありますので、校長先生も感極まりまして、式辞を述べるも、最初のあいさつのときから涙声で、校長先生みずからが涙を流されて。そして、非常に温かいと申し上げたいのは、校長先生が20人の卒業生一人一人の名前を挙げて、「あなたはこういうことを勉強しましたね。将来こういう夢があるんですね」というようなことを全部紹介してくれました。人数が少ないからできたということがあるかもしれませんが、普通の学校の卒業式とはまた違った、最後ということもあったかもしれませんが、校長先生のそういう計らいの式辞をお聞きしました。

学校がなくなる寂しさもあると思うのですが、PTA会長さんなどは、「でも、頑張ろうよ。逆に考えると、『私は仲町小学校の最後の卒業生だ』という自己紹介をすると覚えてもらえるよ」なんていう、子どもにはちょっと酷な話かもしれませんが、そういう話まで式辞の中でしてくれました。私は教育委員会代表ですので、教育委員会としまして、長年の地域の皆様のご努力、ご尽力に深く感謝を申し上げてきました。

そして、仲町小学校は、今、NHKで閉校になる学校をずっと特集しているようですが、今晚9時か9時半ぐらいに、特別のトピックニュースがなければ放送されると思うのですが、卒業式のときもNHKの方がカメラを回していましたし、翌日の閉校式も来て取材しているはずですので、今晚見たいなと思っておりますけれども、ご紹介します。

それから、25日の火曜日は、私も桃丘小学校のほうの閉校式に伺いました。桃丘小学校は50年ですけども、桃丘小学校も来賓が非常にたくさん来て、特に閉校式ですので、卒業式とはまた違って、同窓生がたくさん来ていました。同窓会の方ですね。卒業した新しい若い子どもたちもいましたけれども、ずっと前の卒業生ということも含めて、卒業式より来賓がかなり多かったなと思うのです。六十数名いたかなと思いますけれども、非常にたくさんいました。

それから、閉校式ですので寂しいのですけれども、桃丘小学校は、ここに学校がありましたということを記念に残したいということで、ちょうど正門のわきに線路のほうに向かって石の記念碑をつくったのです。子どもたち一人一人の言葉を石に書いたりしまして、石を建てまして、その閉校式が終わった後、除幕式もやるということで、除幕式も皆さんでやっていました。ここも、仲町小学校と同じように閉校でございますので、教育委員会、区を代表して、長年のご苦勞に感謝を申し上げてまいりました。

以上です。

<教育長報告事項>

教育長

先週の金曜日ですけれども、区議会第1回定例会が閉会いたしまして、いろいろ議案が議決されて閉会いたしました。

それから、私も、今週の月曜日、24日は、新井小学校の卒業式に出てまいりました。新井小学校は校長先生が退職ということですので、いろいろ感慨深いものがあったということで、あいさつの言葉の端々にそういうものがうかがえました。なかなか厳粛に進んで、子どもたちも元気よく歌を歌ったりしていて、いい卒業式でした。ただし、体力がないのか、式の途中で2人ばかり座り込んで、わきのほうに連れていかれた子どもがいて、その辺はもう少し体力をつけなければいけないなと思いました。

それから、次の25日ですが、これは仲町小学校の修了・お別れ式ということで出てまいりました。ここも桃花小学校になるということです。ただ、この学校は、いろいろありまして、桃花小学校だけではなく、中野本郷小学校とか、谷戸小学校に通う子どもも結構いて、要するに、ここがなくなってもいろいろなところにそれぞれ行くということで、そういう面では、一言では言えないというのですか、どこで頑張りなさいという感じではなくて、それぞれのところで頑張ってくださいというような形のお話をさせていただきました。

この仲町小学校の修了・お別れ式もいろいろと工夫されていきました。そういう面では、我々もこれは全く経験がないのですけれども、それぞれの学校もそういった面では経験がないということでいろいろ工夫されていて、地域の方がいっぱい来られて、本当にいい修了式だったと思っております。

私からは以上です。

<事務局報告事項>

高木委員長

続きまして、事務局からの報告はありますか。

(なし)

高木委員長

以上で、本日予定した議事は終了いたしました。

ここで、傍聴の皆さんにお知らせいたします。

来週4月4日は教育委員会は休会といたします。したがって、次回の教育委員会は4月11日になります。

これをもちまして、教育委員会第11回協議会を閉じます。

午前11時25分閉会